

一編 集 後 記一

本号には湖底堆積物の乾燥または酸化過程に関する論文が2編掲載されています。このような酸性硫酸塩土壌でふと思うのは3から4の格段に低いpHと硫酸イオンの挙動です。土壌中における硫酸イオンの挙動は酸性雨の土壌影響と関連して近年研究されるようになりましたが、その定量法の制限もあって以前はあまり詳しく研究されなかったように思います。また、この超強酸性pH領域は4~8のpH領域における知見を単純に延長してわかることばかりでしょうか。このような極端な酸性条件に関する知見は酸性硫酸塩土壌だけでなく、土壌診断等でよく使われる各種希酸抽出法の結果を解釈するとき

も大切になりませんか。3~4にpHが下がればアロフェン等はかなり溶けてしまうかも知れません。硫酸イオンはpH3~4では2価の陰イオンである一方、鉄鉱物等いくつかの土壌コロイドでは正電荷が優勢になるうか思われます。このとき正電荷を持つ土壌コロイドに対する硫酸イオンの凝集効果はどの程度でしょうか。これらの疑問に対する答えは筆者が知らないだけで文献的には既知かも知れません。今夏タイ（国際土壌科学会議の見学旅行）で見た酸性硫酸塩土壌は広大でした。

<編集委員 南條正巳（東北大学大学院農学研究科）>

土壌物理学会

事務局構成	会 長	宮崎 毅	(東京大学大学院農学生命科学研究科)
	副 会 長	岡崎 正規	(東京農工大学大学院)
	庶務幹事	溝口 勝	(東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計幹事	井本 博美	(東京大学大学院農学生命科学研究科)
	編集幹事	関 勝寿	(東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計監査	加藤 誠	(東京農工大学農学部)
	”	金子 文宜	(千葉県農業試験場)
編集委員会	委 員 長	粕淵 辰昭	(山形大学農学部)
	委 員	古賀 潔	(岩手大学農学部)
		藤井 克己	(岩手大学農学部)
		佐藤 照男	(秋田県立大学短期大学部)
		粟生田忠雄	(新潟大学農学部)
		足立一日出	(独立行政法人農業技術研究機構)
		吉田修一郎	(独立行政法人農業技術研究機構)
		安中 武幸	(山形大学農学部)
		花山 奨	(山形大学農学部)
	南條 正己	(東北大学農学部)	

土壌の物理性 第91号 (会員配布) 2002年7月15日発行

発行 土 壌 物 理 学 会

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

生物・環境工学専攻 環境地水学研究室内

電 話 03-5841-5351, 5374 FAX 03-5841-8171

E-mail : sp-staff@soil.en.a.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jssp/>

銀行口座 第一勧業銀行 本郷支店

普通 2407673 土壌物理学会 代表 宮崎 毅

印 刷 創文印刷工業株式会社

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16